

Monthly Report

2018年2月号

特集
「安全運転春夏秋冬」

寒波の情報が絶えることなく、春が待ち遠しい季節ですが、いざ春が訪れるとすぐに夏になりと、季節の移ろいは早いものでもあります。

そこで、春を前にしたこの時期に、年間の交通事故防止対策を、春夏秋冬に合わせて整理してみました。

交通事故防止には、交通法規を順守することはもちろん、天候や道路状況などの交通環境を踏まえた適切な事故防止策を身に付け、常に十分な準備と心構えで運転に臨むことが大事です。

この「安全運転春夏秋冬」も是非、参考としてください。



◆春◆ 生活環境の変化と眠気に注意しましょう

季節の特徴	特徴から生じる現象やリスク	対策例
生活環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> 不案内な土地での運転 慣れない仕事を気にしながらの運転 集中力の低下による、標識等の見落とし 	地図等で地域の特徴をよく調べ、カーナビ画面の注視にならないようにする。知らない土地ではスピードを控え目にし、一時停止を徹底する。
眠気	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠不足や薬の服用 眠気から、集中力を欠いた運転 居眠り運転 	生活環境の変化等により疲れがたまり易くなるので、十分な睡眠をとるよう日常生活に留意する。また、花粉症などの薬の服用後は運転を控える。

＜全国交通安全運動＞

毎年、春と秋に内閣府、警察庁等主催により「全国交通安全運動」が推進されています。

「子どもと高齢者の交通事故防止」等、その都度時宜に合ったテーマが定められていますので、時期が近くなりましたら、各種報道に注意しましょう。

※昨年は、春（4月6日～15日）、秋（9月21日～30日）に実施されました。



SOMPO ホールディングス

損保ジャパン日本興亜

◆夏◆ 厳しい暑さと疲労には、常に注意が必要です



季節の特徴	特徴から生じる現象やリスク	対策例
暑さ	<ul style="list-style-type: none"> 暑さからの体調不良 集中力を欠いた漫然運転 危険の見落としや、発見の遅れ 	運転中は冷房温度をうまく調整し、こまめに水分補給をする。就寝時に冷房タイマーを使用するなど、日頃の快眠環境を整えて体調を維持する。
しじゃー	<ul style="list-style-type: none"> 長距離ドライブによる疲労の蓄積 渋滞によるあせりやイライラから、先急ぎの運転 	心とスケジュールにゆとりを持ち、十分な車間距離を確保し、スピードを抑えて運転する。早めに休憩をとる。長距離ドライブ前の車両点検や高速道路での退避方法の確認

◆秋◆ 台風季節、日没時間が大きく早まります



季節の特徴	特徴から生じる現象やリスク	対策例
薄暮	<ul style="list-style-type: none"> 日没時間が大きく早まる。 視認性の低下 歩行者の発見の遅れ 	自車の存在を示すため、早めにライトを点灯する。相手の発見が遅れても対応できるよう、スピードを抑えて運転する。
台風	<ul style="list-style-type: none"> 強い風雨の影響 車両のコントロールが、困難になる。 	事前に気象情報などを収集し、台風を避けた走行ルート、走行時間を選択する。走行せざるを得ない時は速度を落とす。

◆冬◆ 寒さ対策、特に年末年始はお酒に注意



季節の特徴	特徴から生じる現象やリスク	対策例
寒さ・雪	<ul style="list-style-type: none"> 路面凍結によるスリップ 車両のコントロールを失う。 	速度を落とし、急ハンドル急ブレーキを行わない。凍結しやすい場所（橋の上、トンネルの出入口、交差点、日かげ等）に注意する。
飲酒	<ul style="list-style-type: none"> 二日酔い等により、自分では気づかず飲酒運転 	前日の飲酒量に注意する。 ※個人差はありますが、アルコールが抜けるには、ビール(500ml)で4時間かかると言われています。

※政府広報オンライン 飲酒運転は絶対に「しない」「させない」みんなで守ろう3つの約束
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201312/1.html> (2018.1.16閲覧)



SOMPO ホールディングス
 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
 ホームページ <http://www.sjnk.co.jp>

時間に余裕をもって、
「お・も・い・や・り」のある運転を!
みなさまの無事故を願っております。
 エヌエスサービス(株) 一同